

桜並木学園つくば市立並木小学校

学校教育目標

かしこく あたたく たくましい児童の育成

令和7年度学校組織目標

自ら課題を見つけ、対話を通して深く考え、挑戦し、問題を解決することのできる児童を育てる。

研究テーマ

自ら課題を見つけ、対話を通して深く考え、挑戦し、
問題解決力を育む学習活動の工夫と授業づくり

(探究的な学び：課題設定のための導入・思考を深める対話・挑戦する意欲を高める振り返り
・質の高いアウトプット)

知 **かしこく**

夢中で学びに取り組む児童

- ①自分事として捉える学習活動の充実 探究的な学び・導入・対話・振り返り
- ②学習の見通しと学習過程の振り返りのサイクルの構築
- ③質の高いアウトプットの場の設定 ICT活用・視点を入れた振り返りの記述など

徳 **あたたく**

互いを尊重し、思いやりをもって関われる児童

- ①あたたかな聴き方 優しい話し方の徹底 心理的安全性
- ②よりよくするために自分から動ける自治的雰囲気醸成
- ③共感的な態度 想像力

体 **たくましい**

向上心をもって、課題に粘り強く取り組める児童

- ①自己理解・メタ認知
- ②適した目標設定→リフレクション→改善のサイクルの構築
- ③楽しく運動できる活動の工夫 (休み時間・体育)

創ろう! みんな(子ども・保護者・地域の方々・教職員)が**幸せ**な並木小学校

子どもが成長(できるようになって)して、**笑顔**になり、並木小で学べる幸せ

○**子供は学校の主人公**

- ①できるようになる幸せ
 - ②自分が認められる幸せ
 - ③みんなと協働できる幸せ
- 子供の可能性を信じる 3つの資質・能力を責任をもって育成する

保護者・地域が子どもの成長を目の当たりにして**信頼を!** 並木小に通わせる幸せ

○**保護者・地域は学校の応援団** 誰一人取り残すことなく大切にされているという実感
学校とは違う視点があるから共に育てる意味がある

教職員が子どもの成長をみんなで喜び、並木小で勤務できる幸せ **やりがい**を!

○**チーム並木** 同僚や保護者との連携 **和顔愛語**

- ①子どもを理解し、寄り添う力
- ②分かりやすい子どもが夢中になる授業をつくる力
- ③学級経営・児童支援力
- ④自己成長する力(人格を磨き、教育の質向上)

→さまざまな研修に主体・積極的に参加 **子どもの「ロールモデル」となる努力**

特別支援教育の充実

- ①配慮を要する児童の共通理解(困難さ・よさを把握)
- ②保護者・関係機関等との連携
- ③みんなが安全安心な学校生活(特別支援教育の視点を生かした学級経営・わかりやすい授業)

コミュニティ・スクールを基盤とする保護者・地域と共に児童を育む

活力ある学校づくり(社会に開かれた教育課程)

- ①児童・家庭・地域の実態やニーズを把握して、課題を明確にし、自主性・社会性を醸成
- ②地域にある学校としての情報の発信と受信(年間を通した学校公開)
- ③地域人材の積極的な活用
- ④計画的な学校評価の実施と活用
- ⑤なみまる学校教育パートナー(保護者や地域の方々)と共に教育活動を活性化